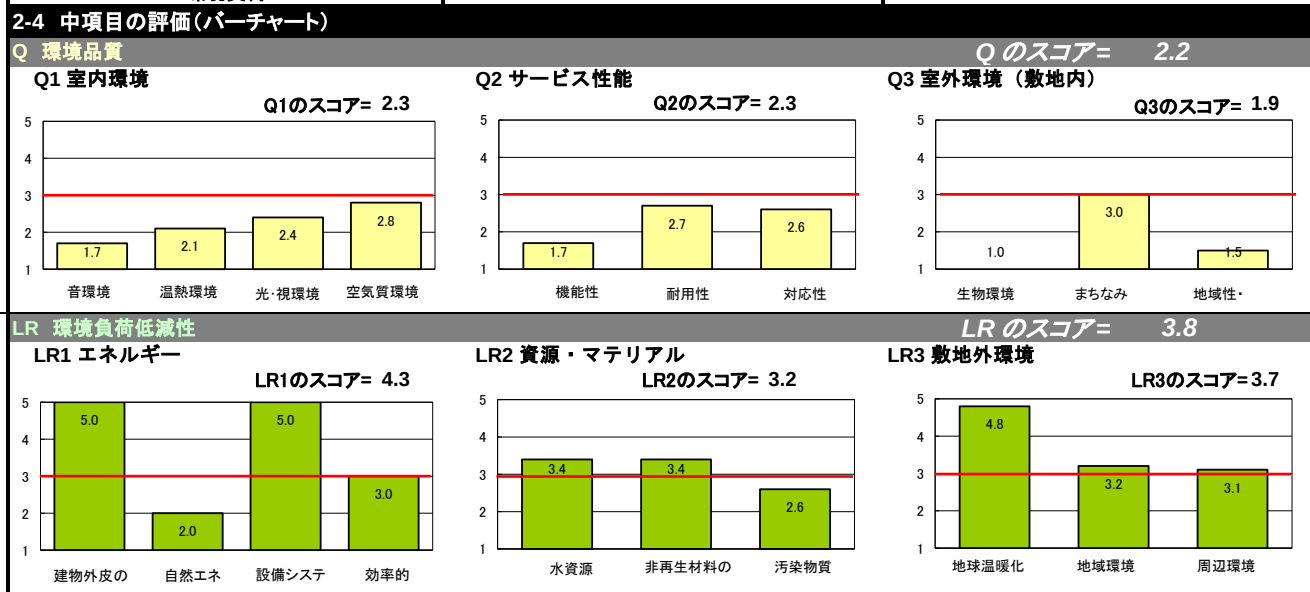
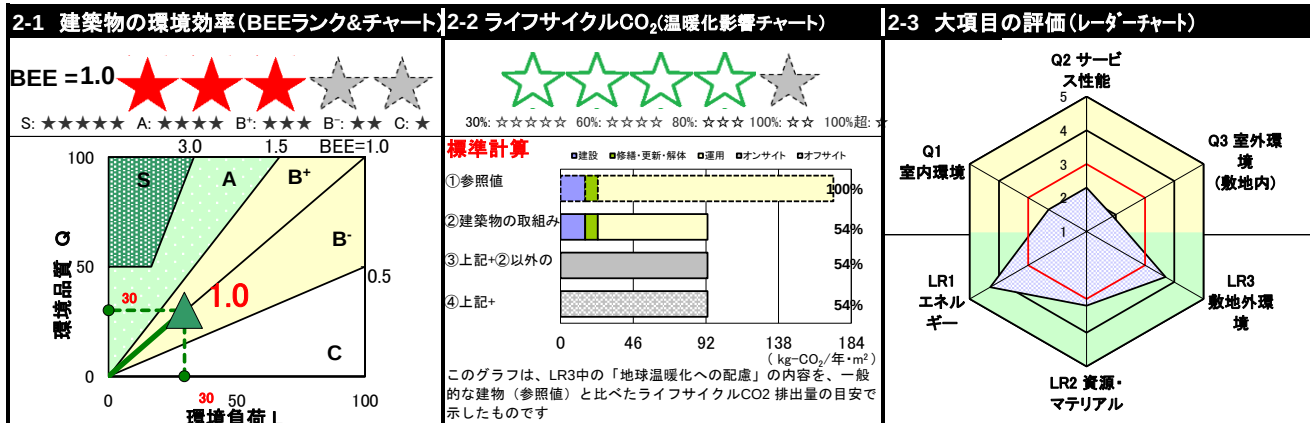


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	五所川原農林高等学校(寄宿舎)	階数	地上2F
建設地	青森県五所川原市	構造	木造
用途地域	指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	XX 人
地域区分	3地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2025年2月20日
敷地面積	3,018 m ²	作成者	鈴木 雄二
建築面積	377 m ²	確認日	2025年2月20日
延床面積	2,039 m ²	確認者	鈴木 雄二



3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ性能の高い設備機器、仕上材の選定を通して室内環境の向上と周辺環境への配慮を持った計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	共用部と住戸部分の室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	Q2 サービス性能 耐用年数を考慮した仕上材の選定や室内の快適性と室内環境の向上につつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	公共空間からほとんど見えない為、まちなみに配慮する必要なし	
LR1 エネルギー	効率的なLED器具の採用等により省エネ性能の高い計画とした。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の便器の採用と、汚染物質含有材料を使用しない計画とした。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えた計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される